

Graduate School of IZUMI University

■ 2026 入試問題集 ■

【英文読解】 1. 大学院 一般選抜・社会人選抜 前期 1

【小論文】 2. 大学院 一般選抜 前期 2

寄り添うところ、支える技術



和泉大学大学院

● リハビリテーション領域

● ヘルスプロモーション領域

1. 英文読解（大学院 一般選抜・社会人選抜 前期）

以下の文章は、認知症の予防・介入・介護に関するランセット常置委員会から出された 2024 年報告書に記載されている Key Messages である。この英文を読んで以下の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(Gill Livingston, et al.,
Dementia prevention, intervention, and care:
2024 report of the Lancet standing Commission
Lancet Volume 404 (2024) を一部修正)

- 問題 1** ランセット委員会は今回の 2024 年度報告書までに 2017 年と 2020 年に報告書を刊行しているが、2020 年の報告書に記載されていた認知症の修正可能なリスク 12 項目を日本語で記載しなさい。
- 問題 2** 今回の 2024 年度報告書において追加された認知症の修正可能なリスクを 2 つ上げなさい。
- 問題 3** 下線部①を日本語に直しなさい。
- 問題 4** 下線部②を日本語に直しなさい。
- 問題 5** 下線部③を日本語に直しなさい。
- 問題 6** 下線部④を日本語に直しなさい。

2. 小論文 (大学院 一般選抜 前期)

問題

2024年12月にアルツハイマー病に対する最初の抗体治療薬が上市され、2025年1月から認知症基本法が施行されたことから、2025年は、現実的にも理念的にも、認知症患者・認知症者・認知症の人に対するリハビリテーション医学・医療が大きく変化する節目の時となった。

アミロイド抗体治療薬は、認知機能低下の進行を抑制することにより、認知症の人に対するリハビリテーションが有効な期間を延長する。

認知症基本法は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる共生社会の実現を推進するために、国・地方公共団体・医療保険福祉サービス提供者・公共サービス提供事業者を含めた国民全体が取り組むことを求めている。

これらの知見を踏まえ、認知症の人の生活を支えるために、どのようなリハビリテーションや健康増進への取り組みが求められるのかを述べなさい。また、あなた自身が認知症の人との共生社会の実現にどのような取り組みを行おうとしているのかについて述べなさい。